

A study on Japanese youths' response to the Tsujioka & Murayamas' value scale

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-03-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小西, 啓史 メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/1391

現代青年の価値観

—辻岡・村山（1975）の「価値観尺度」を用いた検討—

A Study on Japanese Youths' Response to the Tsujioka & Murayamas' Value Scale

小西 啓史
KONISHI, Hiroshi

要 約

大学生123名（男性30名、女性93名）を対象に、彼らの価値観を測定した。用いられた尺度は、辻岡・村山（1975）の開発した「価値観尺度」である。

その結果、現代の若者は、特定の枠にはまらない多様な生き方を求め、他者と協同し、また努力して生きていくことに価値観を見出していることが明らかになった。一方、道徳的価値観に従って生きることや、自己の内的世界を大切にするような生き方にはあまり価値を見出していなかった。

さらに、得られた結果を因子分析したところ、「価値観尺度」とほぼ同様の因子が抽出された。このことから、「価値観尺度」が価値観の測定に有用なことも明らかにされた。

キーワード：価値観、社会的態度、価値観尺度、現代青年

問 題

この世の中に存在している対象は、「望ましいものか望ましくないものか」「重要であるか重要でないか」などの観点から評価される。これらの判断の基準になるのが価値観（sense of value）である。すなわち、価値観とは、個人もしくは集団が世界の中の事象に対して下す価値判断の総体をいう。

何に価値を見出すかは、個人や社会、文化によって異なる。小西（2009, 2010）は日韓の青年の恋愛態度の比較をとおして、両国の若者たちの価値観の違いを明らかにしようとした。それによると、ほとんどの考え方に差はないが、実利的なことに関する考え方にのみ若干の違いがあることが示された。すなわち、日本人学生に比べて韓国人学生の方が恋愛において実利的態度をもっていることが明らかになった。

価値観と類似した概念に態度（attitude）がある。大山（1990）によれば「態度は一般に、特

定の対象や行為、社会的事象に対する好意的あるいは非好意的評価、感情、行動についての先有傾向 (predisposition) と定義づけることができる」(p.239)。態度の対象となるものは、その多くが社会的事象であり、そのため社会的態度という用語が用いられることも多い。

実際の行動を予測するには、その人がどのような価値観や社会的態度をもっているかを明らかにすることが有効である。そこで、これまでも価値観や社会的態度を測定するためにさまざまな尺度が開発されてきた。

Morris & Jones (1955) は、好ましい生き方という視点から13の価値類型(「中庸型」「達観型」「慈愛型」「享楽型」「協同型」「努力型」「多彩型」「安楽型」「受容型」「克己型」「瞑想型」「行動型」「奉仕型)を明らかにした。これをもとに、辻岡・村山(1975)は「価値観尺度」を開発した。ここでは「協同的人生観」「博愛的人生観」「道徳的人生観」「自己沈潜的人生観」「努力的人生観」「多彩的人生観」の6因子が抽出されている。

Spranger (1921) の価値理論(「理論的」「経済的」「美的」「社会的」「政治的」「宗教的」の6つの価値カテゴリー)をもとに酒井・山口・久野(1998)は「価値志向性尺度」を開発した。ここでは、「理論」「経済」「審美」「宗教」「社会」「権力」の6因子が抽出された。青木(1970)もSprangerの理論をもとに、「理念的達成主義」「享乐的自己主義」「利己的現実主義」「耽美的追求主義」の4因子を抽出している。

また、加藤・加藤(1987)は、現代青年の社会的態度を測定するために「社会的態度尺度」を開発した。ここでは、「伝統指向的態度」「革新指向的態度」「合理的・個人主義的態度」「感性的・娯楽指向的態度」「無気力的・虚無的態度」の5因子が抽出された。

筆者は上述したように、これまで日韓の青年の行動や態度を比較研究してきたが、比較対象となる文化の違いを明らかにする上で、それぞれの文化に住む人が有している価値観や社会的態度を測定することは非常に有効であると考え。そのためには、対象となる複数の文化に共有される価値観や社会的態度が含まれた尺度が必要である(電通総研日本リサーチセンター, 2008; 岩井・保田, 2009など)。Morris (1956) は、前述の13類型を用いてアメリカ、カナダ、インド、日本、中国、ノルウェーの6ヵ国での比較研究を行い、各国で幾つかの違いを見出している。日本では、Misumi & Ando (1964) がMorrisの調査結果と比較している。Morrisの調査ではアメリカでは「多彩型」が多く、日本では「慈愛型」が多かったが、Misumiらの調査では日本の大学生では「慈愛型」が減少し、「多彩型」が増加していることが明らかになった。

上述したように価値観を測定する尺度はさまざまなものが開発されている。その中でも、辻岡・村山(1975)の開発した「価値観尺度」は、上野(1994)によれば「価値観が「生き方」に統一され、抽象レベルがほぼ等質であり、価値観の測定尺度としては、最も構造化された尺度の1つである。また、価値観を多次的にとらえている点に特徴がある」(p.406)。これら特徴によって、現代青年の価値観を測定するには最も適した尺度のひとつであると判断した。そして、この尺度の妥当性を検証することで、今後の比較文化研究にも使用が可能になるものと思われる。

そこで本研究では、辻岡・村山の「価値観尺度」の有用性を検討することを目的とする。そのために、この尺度を使って実際に対象者の持つ価値観を明らかにし、その結果をもとに「価値観尺度」の妥当性を検討する。

方 法

対象者：武蔵野大学人間関係学部人間関係学科学生123名（男性30名、女性93名）を対象とした。平均年齢は、男性19.79歳、女性は19.83歳であった。

手続き：主に2，3年生を受講対象とした「対人行動論1」の授業時に質問紙を配布、回収した。

質問紙：辻岡・村山（1975）が開発した「価値観尺度」を用いた。この尺度は（1）協同的人生観（2）博愛的人生観（3）道徳的人生観（4）自己沈潜的人生観（5）努力的人生観（6）多彩的人生観の6つの下位尺度からなり、それぞれの尺度は12項目、合計72項目の質問文から構成されている。質問紙では、これら項目をランダムに並び替えて提示された。評価は賛成から反対まで5段階によってなされた（具体的な項目はAppendixを参照）。

結果と考察

1. 現代青年の価値観

欠損値のあるもの、あるいは同一反応しかなされていないものを除いた120名（男性28名、女性92名）のデータを分析対象とした。

Table 1は「価値観尺度」の6つの下位尺度の平均値および標準偏差を示したものである。

Tab.1 価値観尺度得点

人生観		協同的	博愛的	道徳的	自己沈潜的	努力的	多彩的
男性	平均	<u>3.96</u>	3.05	3.08	3.39	<u>3.96</u>	<u>4.13***</u>
	標準偏差	1.05	1.39	1.26	1.22	1.05	0.94
女性	平均	<u>4.07</u>	3.65	3.47	3.23	<u>3.93</u>	<u>4.16***</u>
	標準偏差	0.76	1.12	0.94	1.11	0.88	0.85
全体	平均	<u>3.95</u>	3.49	3.36	3.27	<u>3.94</u>	<u>4.15***</u>
	標準偏差	0.91	1.22	1.05	1.14	0.93	0.87

***P<.001

註) 下線は高得点であったものを示している。

一元配置の分散分析を行った結果、男性、女性、全体ともに有意な差が認められた（男性：F(5,2010)=48.13, p<.001 女性：F(5,5610)=136.53, p<.001 全体：F(5,7626)=158.15, p<.001）。多重比較の結果は、ほとんどの組み合わせにおいて有意な差が認められた。有意差が認められなかったのは、男性の場合では、博愛的：道徳的、努力的：多彩的の間であり、女性の場合では、協同的：多彩の間でのみ、全体では、博愛的：道徳的、努力的：協同的、道徳的：自己沈潜の間であった。

また、いずれの属性においても、多彩的価値観、協同的価値観、努力的価値観の得点が高いことが明らかになった。これらの結果から、現代の青年は、特定の枠にはまらない多様な生き方を

求め、他者と協同し、また努力して生きていくことに価値観を見出していることが推察される。一方、道徳的価値観に従って生きることや、自己の内的世界を大切にしようとする生き方にはあまり価値を見出していないことが分かる。

2. 「価値観尺度」の妥当性の検討

今回の結果をもとに因子分析（主因子法、バリマックス回転）を行った。因子の抽出においてはスクリープロット基準を用いた。その結果、今回も6因子を抽出することができた（Table 2）。

Tab. 2 価値観尺度の因子分析の結果

	因子1 協同的	因子2 博愛的	因子3 多彩的	因子4 努力的	因子5 自己沈潜的	因子6 道徳的	共通性
因子1（協同的）							
協同的5	0.824	0.005	-0.033	0.179	0.079	0.014	0.719
協同的12	0.764	0.245	0.160	0.102	-0.117	0.068	0.698
協同的7	0.753	0.209	0.002	0.159	0.038	0.160	0.663
協同的3	0.735	0.103	0.076	0.092	-0.055	0.124	0.583
協同的6	0.718	0.281	0.065	0.321	-0.068	0.182	0.739
協同的1	0.703	-0.050	0.006	0.024	-0.032	0.110	0.511
協同的11	0.683	0.100	0.031	0.207	-0.089	0.223	0.578
協同的2	0.679	0.160	0.058	0.026	0.119	0.028	0.506
協同的9	0.658	-0.042	0.067	0.169	0.017	0.318	0.570
協同的10	0.636	0.424	0.121	0.231	-0.047	0.169	0.682
博愛的11	0.629	<u>0.441</u>	0.123	0.197	-0.056	-0.005	0.550
協同的4	0.574	0.076	-0.039	0.197	-0.157	0.057	0.403
協同的8	0.525	0.116	0.163	0.121	0.088	0.336	0.451
博愛的12	0.520	<u>0.209</u>	0.002	0.159	0.038	0.160	0.550
博愛的8	0.484	<u>0.400</u>	0.334	0.142	-0.105	0.055	0.540
努力的4	0.472	0.230	0.115	<u>0.420</u>	-0.007	0.150	0.488
努力的5	0.385	0.142	0.211	<u>0.309</u>	-0.058	0.222	0.361
自己沈潜的4	-0.373	-0.231	0.327	-0.052	<u>0.254</u>	-0.071	0.372
道徳的8	0.360	0.170	0.246	0.068	-0.070	<u>0.348</u>	0.349
多彩的8	0.317	0.153	<u>0.222</u>	0.031	0.178	0.184	0.258
多彩的9	0.292	-0.018	<u>0.005</u>	-0.121	0.007	-0.260	0.168
因子2（博愛的）							
道徳的4	0.106	0.687	-0.033	0.005	-0.108	<u>0.222</u>	0.546
道徳的2	0.072	0.676	-0.203	0.071	-0.085	<u>0.341</u>	0.632
博愛的2	0.327	0.668	0.073	-0.018	-0.113	-0.184	0.605
博愛的4	0.123	0.649	-0.039	-0.124	-0.123	0.204	0.510

道德的 5	-0.048	0.645	-0.080	0.010	-0.050	<u>0.081</u>	0.433
博愛的 1	0.333	0.611	0.161	0.164	-0.250	-0.015	0.599
自己沈潜的11	-0.190	-0.575	0.090	-0.095	<u>0.178</u>	-0.006	0.416
多彩的 5	-0.066	-0.562	<u>0.091</u>	0.108	-0.167	0.057	0.371
博愛的 7	0.229	0.557	-0.031	0.116	0.007	-0.208	0.421
博愛的10	0.259	0.522	0.100	0.186	-0.363	-0.002	0.516
博愛的 3	0.439	0.503	0.101	0.053	-0.137	0.006	0.478
博愛的 9	0.394	0.401	0.290	0.151	0.060	-0.041	0.428
努力的 7	0.158	-0.368	-0.108	<u>0.348</u>	-0.028	0.255	0.359
多彩的 2	-0.005	-0.365	<u>0.275</u>	0.139	-0.016	0.170	0.258
博愛的 6	0.127	0.309	-0.126	0.051	0.015	-0.106	0.142
道德的 7	0.221	0.304	0.239	0.139	0.224	<u>0.069</u>	0.273
因子 3（多彩的）							
自己沈潜的 8	-0.034	-0.057	0.676	0.121	<u>0.054</u>	-0.030	0.479
多彩的 6	-0.029	0.131	0.541	0.286	-0.062	0.084	0.403
自己沈潜的 5	-0.153	-0.309	0.534	0.014	<u>0.302</u>	0.079	0.501
多彩的12	0.294	0.238	0.516	0.143	0.010	0.170	0.459
多彩的11	0.063	-0.024	0.503	0.103	-0.078	-0.037	0.276
多彩的 4	0.212	-0.145	0.501	-0.121	-0.046	0.099	0.343
多彩的 7	0.187	0.087	0.476	0.301	-0.128	0.001	0.376
自己沈潜的 9	0.120	-0.103	0.457	-0.077	<u>0.118</u>	0.061	0.258
多彩的 8	0.065	-0.141	0.445	0.105	0.141	0.067	0.258
自己沈潜的 1	-0.147	0.124	0.427	0.259	<u>0.203</u>	0.063	0.331
努力的12	-0.032	-0.097	0.277	<u>0.241</u>	0.119	0.192	0.196
自己沈潜的12	0.193	-0.201	0.267	0.137	<u>0.217</u>	0.017	0.215
因子 4（努力的）							
努力的 2	0.197	0.204	0.041	0.732	0.100	-0.045	0.630
努力的11	0.184	0.076	0.273	0.632	-0.128	-0.034	0.532
努力的 9	0.255	0.132	0.082	0.586	0.020	-0.004	0.434
努力的10	0.322	0.176	0.026	0.524	-0.060	0.108	0.425
努力的 1	0.102	-0.313	0.273	0.501	0.025	0.031	0.436
努力的 8	0.164	-0.171	0.034	0.495	0.014	-0.032	0.304
努力的 3	0.073	-0.410	0.149	0.495	0.172	-0.074	0.475
努力的 6	0.042	0.080	0.221	0.485	-0.079	0.274	0.373
因子 5（自己沈潜的）							
自己沈潜的10	-0.049	-0.064	0.111	-0.137	0.786	0.045	0.657
自己沈潜的 3	-0.002	0.021	0.066	0.080	0.743	0.132	0.581
自己沈潜的 2	-0.103	-0.313	0.296	0.017	0.691	-0.010	0.674
自己沈潜的 6	-0.339	-0.281	0.144	-0.057	0.578	-0.139	0.572
道德的 9	-0.030	-0.326	-0.073	0.067	0.424	<u>0.395</u>	0.453

道徳的12	0.329	-0.168	-0.117	0.022	0.402	<u>0.207</u>	0.356
因子6 (道徳的)							
道徳的6	0.323	-0.144	-0.002	0.122	0.282	0.613	0.595
道徳的1	0.319	0.248	-0.075	0.159	0.321	0.600	0.657
道徳的11	0.251	0.161	0.305	0.023	-0.089	0.554	0.497
道徳的10	0.369	-0.028	0.029	0.108	0.148	0.552	0.476
道徳的3	0.307	0.219	0.076	-0.059	-0.026	0.433	0.339
多彩性1	0.315	-0.220	<u>0.181</u>	-0.003	-0.364	0.418	0.487
自己沈潜的7	0.162	-0.228	0.202	-0.132	<u>0.121</u>	0.387	0.301
多彩的3	0.326	0.048	<u>0.343</u>	-0.073	-0.239	0.385	0.437
博愛的5	0.227	<u>0.233</u>	-0.114	0.072	0.249	-0.257	0.252
因子寄与	14.949	6.825	3.479	3.021	2.565	2.001	
因子寄与率	20.762	9.479	4.832	4.196	3.563	2.779	
累積寄与率	20.762	30.241	35.073	39.269	42.831	45.611	

註) 一部の因子負荷量にひかれた下線は、辻岡・村山(1975)の研究で抽出された当該の因子項目を示している。

因子のまとまりを確認するために、辻岡らの「価値観尺度」で抽出された当該因子項目の負荷量に下線を引いたが、項目の組合せに若干の違いが見られるものの「価値観尺度」と大きな違いは認められなかった。これらの結果から、一部項目の入れ替えを検討する必要はあるが、今後の価値観研究においても、この「価値観尺度」を用いることは有用であると考えられる。

引用文献

- 青木孝悦(1970) 大学生の価値類型について 心理学研究, 41, 83-89.
- 電通総研日本リサーチセンター(2008) 世界主要国価値観データブック 同友社
- 岩井紀子・保田時男編(2009) データで見る東アジアの家族観—東アジア社会調査による日韓中台の比較 ナカニシヤ出版
- 加藤厚・加藤隆勝(1987) 現代青年の社会的態度の構造—態度を構成する次元の検討— 筑波大学心理学研究, 9, 87-93.
- 小西啓史(2009) 現代青年の恋愛行動—韓国の大学生を対象として— 武蔵野大学人間関係学部紀要, 6, 157-163.
- 小西啓史(2010) 現代青年の恋愛行動(2)—韓国と日本の大学生の比較をとおして— 武蔵野大学人間関係学部紀要, 7, 17-26.
- Misumi, J. & Ando, N. (1964) A cross cultural & students' response to the Morris' value scale. Psychologia, 7, 175-184.
- Morris, C., & Jones, L.V. (1955) Value scale and dimensions. Journal of Abnormal and Social Psychology, 51, 523-535.
- Morris, C. (1956) Varieties of human values. Univ. Chicago Press.
- 大山七穂(1990) 価値と規範(大坊郁夫・安藤清志・池田謙一編 社会心理学パースペクティブ3) 誠信書房 pp.237-262.
- 酒井恵子・久野雅樹(1997) 価値志向的精神作用尺度の作成 教育心理学研究, 45, 388-395.
- Spranger, E. (1921) Lebensformen: Geisteswissenschaftliche Psychologie und Ethik der Persönlichkeit. 2. Aufl.

- Tu bingen: Max Niemeyer. (シュブランガー E. 伊勢田耀子訳 (1961) 文化と性格の諸類型 明治図書)
- 辻岡美延・村山繁 (1975) 価値観の六次元—因子的真実性の原理による尺度構成— 関西大学社会学部紀要, 7, 161-174.
- 上野行良 (1994) 1. 価値観・ライフスタイル (堀洋道・山本真理子・松井豊編 心理尺度ファイル 一人間と社会を測る— 垣内出版) pp.402-448.

Appendix

価値観尺度 (辻岡・村山, 1975)

<協同的人生観>

1. メンバーと力を合わせて集団と共に生きて行きたい。
2. 共同的な集団の中で楽しく生きて行きたい。
3. 集団活動にもっと精力的に参加して生きて行きたい。
4. 集団や社会に積極的に参加するような生き方をしたい。
5. 共同の目標のために皆と共に行動したい。
6. 他者と強調し積極的に行動する生活を続けたい。
7. 皆と協力して社会生活を営んで生きて行きたい。
8. 進んで社会集団に溶け込んで生きて行きたい。
9. 人々との協力を社会生活の中心において人生を送りたい。
10. 皆と相互に協力し合って満足の出来る社会生活を送りたい。
11. よろこびを見出して人生を送りたい。
12. 人々と協力したり友情を確かめ合える人生を送りたい。

<自己沈潜的人生観>

1. 内面生活を充実させて生きて行きたい。
2. 外界から離れ瞑想の内面生活の充実を人生の目標としたい。
3. 静かに物事を考えながら日々を送りたい。
4. 他人にわずらわせられることなく自分だけの内面生活を続けたい。
5. 自己内部に生活の中心を求めて生きたい。
6. 私生活に閉じこもり自分のための生活がしたい。
7. 自然の中で無心になって心の安定を求める生き方がしたい。
8. 内面生活を報いあるものにするように努めたい。
9. 自分の時間を多く持って自分自身の生活を充実させて生きたい。
10. 社会生活から遠ざかって控え目に生きたい。
11. 人が何をしようと関わりなく生きて行きたい。
12. 世の中のことにはこだわらずに自然に受け入れて生きたい。

<多彩的人生観>

1. 特定の生き方にはまらず、柔軟な生き方をしたい。
2. 自分の人生の中では、多元主義を貫きたい。
3. 自分自身の中に多様性を求め柔軟性を養いつつ行きたい。
4. 人の生き方はさまざまであるから何かに凝り固まって生活したくない。
5. 変化に富んだ人生を送りたい。
6. どんな生き方もそれ自身意味のあることだと思う。
7. 人にはいろいろな生き方があって当然だと思う。
8. 孤独と社交を使い分けて人生を楽しみたい。

9. ひとつのことに片寄って生きたくない。
10. ときと場合に即応し、いろいろな生き方を参考にしたい。
11. 人は人、自分に合った生き方をしたい。
12. 人生はさまざまな生き方の相互作用であると思う。

<努力的人生観>

1. 創造したり活動し続けて人生を送りたい。
2. 絶えず努力する人間になりたいと思う。
3. 自分の要求を実現するためには、どんな努力もおしまないつもりである。
4. 問題から逃避することなく解決へと努力したい。
5. 人生につきまとう多くの悩みを理解し解決する自分でありたい。
6. 次々に生起する問題を解決するために努力し続けたい。
7. 停滞することなく不断の活動の必要性を強調し続けたい。
8. 障害を乗り越え何かを征服する中に人生の生きがいがあると思う。
9. 困難な問題に正面から立ち向かって行く自分になりたい。
10. 努力することによって人生を実りあるものにしたい。
11. 少なくとも自分の目標に対しては、努力し続ける人間でありたい。
12. 自己実現のために世間の厳しさや人間の限界を知りながら生きて行きたい。

<道徳的人生観>

1. 世の中の秩序に従って生きて行きたい。
2. 道徳などあってなきが如く、自分の生き方を貫きたい。
3. 自分は社会の秩序に従って生きて行きたい。
4. 自分の欲望を実現するためには道徳などにこだわらずに生きて行きたい。
5. 法律に縛られないで自由に生きて行きたい。
6. 慎みと知性によって培われた秩序に従って生活したい。
7. 社会の変化は、急激にはではなく慎重に行ってほしい。
8. 礼儀を重んじて生きて行きたい。
9. 私情を捨て自制しながら生きて行きたい。
10. 自律自足の人間として理性に従って生きることを目標としたい。
11. 何事にも自己規制が必要である。
12. 俗世間の欲望を節制して生活したい。

<博愛的人生観>

1. 隣人を押しつけても出世することだけを考えて生活がしたい。
2. 人が悲しもうと自分の目的を達成するように努力したい。
3. 他人を犠牲にしても自分の思う通りに生きてみたい。
4. 目的の実現のためには手段を選ばずに進みたい。
5. 高い地位や名声を得る人間になりたい。
6. 所詮この世は金次第であるから経済力を身につけて生きてみたい。
7. 人間の幸福は金の力で決まるから金儲けに徹して人生を送りたい。
8. 人を支配するよりは人を愛する人間になりたい。
9. 人を利用することは慎んで生きてみたい。
10. 他人のことにはまったく関わらず自分のことだけを考えて生きてみたい。
11. 人々の幸福に少しでも貢献できるよう努めたい。
12. 今よりも、もっと人には思いやりのある人間になりたい。